

政策調整会議の概要

開催日 平成 22 年 3 月 29 日 (月)

◎項 目

- 1 高知県のグリーン購入の取り組み及び平成 21 年度文化環境評価システムの取り組み結果について
【林業振興・環境部】
- 2 東京事務所のミッションの進捗状況と成果について【東京事務所】

◎内 容

- 1 高知県のグリーン購入の取り組み及び平成 21 年度文化環境評価システムの取り組み結果について
【林業振興・環境部】

林業振興・環境部から、グリーン購入及び文化環境評価システムの取り組み結果について説明後、意見交換を行った。

【概要説明】

(グリーン購入)

- ・ 県では、毎年度末に閣議決定される国の方針を受けてグリーン購入する品目を決めている。来年度は、重点的に購入している品目に 11 品目が追加され、1 品目削除される。
- ・ 環境省で認証されているカーボン・オフセットマークを目安にしながら、今後購入を進めてもらいたい。
- ・ 名刺については、古紙配合率 100%のものを調達することは不可能であるため、間伐材の名刺を対象にする。
- ・ 高知県グリーン購入実績は、平成 17 年度から 19 年度まで、ほぼ 100%で推移しているが、平成 19 年度は再生古紙の偽装事件が発覚したため、落ち込んだ。昨年度からは、古紙の配合率や白色度、間伐材の使用率などによる総合評価が導入されている。
- ・ 平成 21 年度の実績率は約 99%を見込んでいる。

(文化環境評価システム)

- ・ 文化環境評価システムは、平成 11 年度から、高知県が独自に、文化環境配慮方針に基づいて公共工事で実施しているものである。
- ・ 本年度は、庁内検討会での意見やアンケートにより、対象事業の選定基準を見直すことにしている。
- ・ 各分野の対象事業と対象発注工事規模の基準を設けているが、これに、前年度以前に検討した事業を除外することと、全体設計を委託する事業を対象事業に追加するという 2 点を追加することを考えている。
- ・ 各部局等で環境に配慮した工法や地域の文化に沿った工法の選定などの努力をすることで、効果が上がってきている。今後とも、環境配慮方針に従って、継続的に取り組んでもらいたい。

【主な意見】

(グリーン購入)

- ・ 間伐材を使った名刺を買いなさいということか。
→ 間伐材を使った名刺が物品調達品目に入ることになる。これまでは、紙を使ったもののうち 100%古紙配合率のものを基準としていたが、来年度以降は間伐材の名刺を買った枚数を報告してもらうことになる。全体を間伐材の名刺にしろということではない。
- ・ 今まではそれを買ってもグリーン購入の対象から外れていたが、対象にするということだろう。(副知事)
- ・ グリーン購入に占める割合は、コピー用紙が一番なのか。
→ コピー用紙は枚数でカウントしているので、やはりコピー用紙が占める割合が大きい。

2 東京事務所のミッションの進捗状況と成果について【東京事務所】

東京事務所より、今年度の東京事務所ミッションの進捗状況と成果について説明後、意見交換を行った。

【概要説明】

- ・政府への提案・要望について、9月に政権交代があり、まず、民主党が自民党時代に作られた補正予算を見直すとのことであったので、情報収集に当たったが、霞ヶ関の官僚の方々にも情報が下りない状況で、非常に苦勞をした。その後、補正予算の見直しや22年度当初予算について、民主党に対する提案・要望を行った結果、交付税の増額、教員定数など、本県が訴えてきたことが一定反映されていると感じている。
- ・医師確保対策の国の動向や、後期高齢者医療制度の見直しのほか、新型インフルに関する国の方針や予算について情報収集を行った。
- ・百貨店や量販店等で行われる高知フェアでは、色々な支援やフィードバックを行ったり、丸の内ビルで三菱地所が主催するイベントでPRをしたりした。
- ・高知県の応援団を増やす取り組みを行い、メルマガを発信しているが、千人を越す登録となり、3月20日には応援団の方々の団結と銘打ち、イベントを行い、250名程度の方に参加していただいた。
- ・観光関連では、龍馬博のPRや首都圏でのイベントや物産展で高知県のPR、首都圏でのよさこい祭りに高知県知事賞を出すなどの取り組みを行った。
- ・中山間地域の直接支払制度については、提案・要望を行った結果、制度が継続されるとともに、取り組みやすい制度に改正された。
- ・土木部関係では、県や市町村から道路、砂防、防災といった提案・要望があるため、その調整とフォローを行っている。
- ・メインは国に対する提案・要望である。来年度も（政策調整会議のメンバーは）東京事務所の参事となると思うので、概算要求にどのように反映されるのかといったことに関して、情報共有しながら取り組んでいきたい。

【主な意見】

- ・国の政権交代で、国への提案・要望の流れがかなり違ったので、秋頃には戸惑いがあったが、段々軌道に乗っていくと思う。4月から交渉を始めて、7月頃には、提案・要望がどのように国に反映されているのか、またはいないのかということ、色々と情報共有していきたいと思う。
 - ・東京事務所には、特に販路拡大について、お世話になった。アンテナショップの開店が7月であるので、来年度も今年度以上によろしくお願いしたいと思っている。（産業振興推進部）
 - ・まずは、来年度の新体制で、政府への提案・要望をどのような形で行っていくかということを検討しなければならないと思う。情報収集してもらいたい項目、東京事務所のミッションを挙げるのが重要である。
- できる限り早く担当チーフと各部局等主管課とで話し合いをし、確認をしながら（ミッションの設定を）やっていきたい。